

## 付：調査委員会について

### 〔調査委員会委員名簿及び各回の議事次第〕

\*調査委員会は、国立国会図書館が三菱総合研究所に委託して設置した。

#### 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」委員名簿

担 当	所 属	氏 名
委員長	成城大学社会イノベーション学部教授	伊地知 寛博
委員	東京工業大学大学マネジメントセンター教授	遠藤 悟
	名古屋大学評価企画室副室長、教授	栗本 英和
	東京工業大学大学マネジメントセンター教授	下田 隆二
	大学評価・学位授与機構評価研究部准教授	林 隆之
オブザーバー	筑波大学ビジネスサイエンス系教授（国立国会図書館調査及び立法考査局文教科学技術課客員調査員）	小林 信一

## 各回の議事次第

### 1 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」第1回委員会

日時：平成23年8月8日（月）13：00～16：00

場所：国立国会図書館（東京本館）新館3階研修室

#### 1. 開会

- (1) 国立国会図書館企画委員会ご挨拶
- (2) 調査委員長ご挨拶
- (3) 委員紹介

#### 2. 議事

- (1) 本調査の全体計画
- (2) 報告書の構成と各パートに関する調査方針
  - (a) 報告書全体構成について
  - (b) 科学技術に関するビジョン形成・課題発掘
  - (c) 研究の担い手としてのPublic Institution  
(休憩：10分)
  - (d) ファンディングと評価
  - (e) 研究活動と社会をつなぐ
  - (f) 災害と研究
- (3) その他

#### 3. 閉会

## 2 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」第2回委員会

日時：平成23年9月5日（月）16：00～19：00

場所：国立国会図書館（東京本館）新館3階研修室

### 1. 開会

### 2. 議事

#### (1) 研究活動と社会をつなぐ

(a) 学際研究・チームサイエンスとその評価（MRI中間報告）

(b) 研究者のアウトリーチ活動（NDL）

（ディスカッション）

#### (2) 研究の担い手としてのPublic Institution

(a) 公的研究機関の役割（MRI中間報告）

（ディスカッション）

#### (3) 科学技術に関するビジョン形成・課題発掘

(a) ビジョン形成：欧州ケーススタディ（MRI進捗）

(b) 国会（議員）の役割（MRI進捗）

(c) Scientific Advisorの役割（MRI進捗）

（ディスカッション）

（休憩：10分）

#### (4) ファンディングと評価

(a) 総論（NDL小林先生）

(b) ファンディングシステムの多様性、類型（遠藤委員）

(c) プログラムレベルでの研究開発評価（MRI進捗報告）

(d) 多面的評価の可能性・有効性（MRI進捗報告）

(e) 研究パフォーマンスの多様な指標（MRI進捗報告）

（ディスカッション）

#### (5) 災害と研究

(a) 災害研究の活用（MRI進捗報告）

(b) 阪神・淡路大震災後の研究拠点立地を通じた復興（MRI進捗報告）

（ディスカッション）

#### (6) その他

### 3. 閉会

### 3 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」第3回委員会

日時：平成23年10月3日（月）14：00～17：00

場所：国立国会図書館（東京本館）本館5階 調査局会議室

#### 1. 開会

#### 2. 議事

##### (1) 科学技術に関するビジョン形成・課題発掘

- 総論（伊地知委員長）
- ビジョン形成：欧州ケーススタディ（MRI中間報告）
- Scientific Advisorの役割（MRI中間報告）  
（ディスカッション）

##### (2) 研究の担い手としてのPublic Institution

- 総論（下田委員）
- 大学の役割（林委員）  
（ディスカッション）  
（休憩：10分）

##### (3) ファンディングと評価

- プログラムレベルでの研究開発評価（MRI中間報告）
- 多面的評価の可能性・有効性（MRI中間報告）
- 研究パフォーマンスの多様な指標（MRI中間報告）  
（ディスカッション）

##### (4) 研究活動と社会をつなぐ

- 総論（栗本委員）  
（ディスカッション）

##### (5) 災害と研究

- 災害研究の活用（MRI中間報告）
- 阪神・淡路大震災後の研究拠点立地を通じた復興（MRI中間報告）  
（ディスカッション）

##### (6) その他

- 次回委員会の日程変更について

#### 3. 閉会

#### 4 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」第4回委員会

日時：平成23年10月31日（月）14：00～17：00

場所：国立国会図書館（東京本館）新館3階 研修室

##### 1 開会

##### 2 議事

###### (1) 災害と研究（30分）

- 災害研究の活用（MRI）
- 阪神・淡路大震災後の研究拠点立地を通じた復興（MRI）  
（ディスカッション）

###### (2) 研究活動と社会をつなぐ（30分）

- 総論（栗本委員）
- 学際研究・チームサイエンスとその評価（MRI）  
（ディスカッション）

###### (3) 研究の担い手としてのPublic Institution（30分）

- 公的研究機関の役割（MRI）
- スウェーデン、フィンランドの公的研究機関の位置づけ（NDL）
- 研究開発法人に関する制度の見直し（NDL）  
（ディスカッション）  
（休憩：10分）

###### (4) ファンディングと評価（45分）

- ファンディングシステム、エージェンシー多様性（遠藤委員）
- プログラムレベルでの研究開発評価（MRI）
- 多面的評価の可能性・有効性（MRI）
- 研究パフォーマンスの多様な指標（MRI）  
（ディスカッション）

###### (5) 科学技術に関するビジョン形成・課題発掘（30分）

- ビジョン形成：欧州ケーススタディ（MRI）
- Public Researchにおける国会（議員）の役割（MRI）
- Scientific Advisorの役割（MRI）  
（ディスカッション）

###### (6) その他（5分）

- 次回委員会の日程について（11月25日（金） 10時～13時）

##### 3 閉会

## 5 「国立国会図書館 科学技術に関する調査プロジェクト」第5回委員会

日時：平成23年11月25日（金）10：00～13：00

場所：国立国会図書館（東京本館）新館3階 研修室

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 科学技術に関するビジョン形成・課題発掘

- 総論（伊地知委員長）
- ビジョン形成：欧州ケーススタディ（MRI）
- 課題発掘：米国ケーススタディ（NDL）
- Public Researchにおける国会（議員）の役割（MRI）
- Scientific Advisorの役割（MRI）
- 地方自治体の科学技術政策：ケーススタディ（NDL）  
（ディスカッション）

#### (2) 研究の担い手としてのPublic Institution

- 総論（下田委員）
- 大学の役割（林委員）
- 公的研究機関の役割（MRI）
- スウェーデン、フィンランドの公的研究機関の（行政法上の）位置づけ（NDL）
- 研究開発法人法：現状と課題（NDL）  
（ディスカッション）  
（休憩：10分）

#### (3) ファンディングと評価

- 総論（小林委員）
- ファンディング・システム、ファンディング・エージェンシー（遠藤委員）
- プログラムレベルでの研究開発評価（MRI）
- 多面的評価の可能性・有効性（MRI）
- 研究パフォーマンスの多様な指標（MRI）  
（ディスカッション）

#### (4) 研究活動と社会をつなぐ

- 総論（栗本委員）
- 学際研究・チームサイエンスとその評価：ケーススタディ（MRI）
- 研究者のアウトリーチ活動（NDL）  
（ディスカッション）

(5) 災害と研究

- 災害研究の活用（MRI）
- 阪神・淡路大震災後の研究拠点立地を通じた復興（MRI）  
（ディスカッション）

3 閉会



この調査報告書は、議員会館内事務室から「調査の窓」(<https://chosa.ndl.go.jp/>)を通じてご覧いただけます。

また、国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp>) からご覧いただけます。

調査資料2011-2

科学技術に関する調査プロジェクト 調査報告書

**国による研究開発の推進**

—大学・公的研究機関を中心に— [本編]

平成24年3月16日発行

ISBN : 978-4-87582-728-3

**国立国会図書館**

**調査及び立法考査局**

〒100-8924 東京都千代田区永田町1丁目10番1号

電話 03 (3581) 2331

E-mail [bureau@ndl.go.jp](mailto:bureau@ndl.go.jp)